

<基本情報技術者試験 講評>

【午前】

テクノロジー系の 80%近くは、定番または重要キーワードの内容で、基礎を中心にしっかり学習していれば得点できたと思います。問 3 の確率や問 36 のルータのパケット経路決定などは、多少、深い知識が必要ですが、過去問題の流用であったため、過去問題で練習していれば十分解ける問題です。

マネジメント系は、問 54 のデルファイ法、問 55 の EUC、問 56 のロールバック、問 57 のニューメリックチェックといった企業と法務、基礎理論や技術要素からの出題、サービスマネジメントの定番でもある ITIL 関連の出題がなかったことなど、意外な出題だったと思います。一方、前回同様に問 58、問 59、問 60 のシステム監査の問題は、過去問題を解いて十分学習しておきたい内容が出題されていました。

ストラテジ系は、重要キーワードを理解すれば解ける問題がほとんどですが、問 65 の利害関係者要件など、「レベル 2 シラバス」の範囲ではあるものの、応用情報などで出題される用語も出現しました。今回の試験を分析すると、下記のようになります。

分野	分類	2010/10		2010/04	
		出題数	全体比率	出題数	全体比率
テクノロジー系 (50 問)	基礎理論	9	11%	8	10%
	コンピュータシステム	18	23%	18	23%
	技術要素	17	20%	18	23%
	開発技術	6	8%	6	8%
マネジメント系 (10 問)	プロジェクトマネジメント	5	6%	3	4%
	サービスマネジメント	5	6%	7	9%
ストラテジ系 (20 問)	システム戦略	6	8%	7	9%
	経営戦略	7	9%	7	9%
	企業と法務	7	9%	6	8%

午前全体をとおして、重要キーワードをしっかり理解した上で、過去問題で出題の性質に慣れていれば、十分合格が可能な内容だと思います。時間難易度、内容難易度は共に前回と「同等レベル」と分析します。

【午後】

午後の出題は次の内容でした。

- 問1 湿度モニタ
- 問2 コールセンターの対応記録管理
- 問3 CRC(巡回冗長検査)
- 問4 認証システム
- 問5 部品の棚卸金額計算
- 問6 IT サービスマネジメントにおける個人情報の保護
- 問7 子会社の業績評価
- 問8 符号付き2進整数の乗算(必須)
- 問9 バスの到着待ち時間
- 問10 有料自動車道路のインターチェンジ別売上と利用台数の集計
- 問11 電子会議システム
- 問12 ビット列を逆転するプログラム
- 問13 シャンプーの価格弾力性分析

[問1から問7で5問選択]

問1はハードウェアに近い問題文から慣れていないと難しく感じますが、問題内の図や表に記述された内容を落ち着いて分析すれば、確実に得点できる問題です。

問2(データベース)は、定番の正規化やSQLを問う問題、問3(ネットワーク)はCRCの計算方法を問う問題、問4(情報セキュリティ)は暗号化技術の問題です。問3は、CRCの計算手順が難解ですが、計算手順が問題に詳しく記述されているので解けない問題ではありません。技術要素全般に、落ち着いて問題を読解できれば解答できる問題だと思います。

問5(ソフトウェア設計)はファイル処理の基本であるマッチングの問題、問6(ITサービスマネジメント)はリスクマネジメントの基本的な考え方を問う問題、問7(システム戦略)は純資産利益率といった財務会計の指標を中心とした問題で、いずれも基本的な内容を理解していれば解ける問題であり、多少知識が曖昧でも、問題文をよく読めば適切な解答を選択できたと感じます。

[問8 必須問題]

テーマそのものは算術シフトなので、疑似言語に慣れていれば理解できるアルゴリズムです。ただし、2つのプログラムを理解したうえで動きを検証するので、予想以上に時間を要する問題になったかもしれません。

[問9から問13で1問選択]

問9(C)は配列を利用したプログラム、問10(COBOL)はソートを利用したプログラムで、どちらも難易度は高くありませんが、仕様変更に伴うプログラムの変更を問うもので、読解するのに時間を要する問題だと感じます。

問11(Java)は、マルチスレッド(synchronized)を利用したプログラムです。過去に、同類の問題が出題されていますが、今回は、マルチスレッドの考え方やJavaでの利用方法を確実に理解していな

いと解けない問題です。

問 12 (アセンブラ) のビット反転は難しくありませんが、設問 2 や設問 3 でプログラムが拡張されており、時間配分に苦勞したと思います。

問 13 (表計算) は、問題や設問文が長いため読解に時間を浪費します。また、設問 3 は、関数を含んだ難解な計算式を解答する必要があり、時間配分が難しい問題だと思います。

午後全体をとおして、問題を丁寧に読めば難解な問題は少ないのですが、問題を理解するために、予想以上に時間を消費する出題が多く、時間的余裕がない状態で解答を迫られたのではないかと思います。必須のアルゴリズムは 2 つのプログラム比較、言語系では追加仕様による処理の違いなど、合格に大きく影響する問題の時間的難易度は高く、前半の選択 5 問も、時間的な余裕はない問題だと言えます。

時間難易度は前回よりかなり高く、内容難易度は前回と同等レベルなので、全体的には前回の試験と比較して「普通からやや難」と分析します。